

平成29年度

筑前町教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価報告書
についての学識経験者による意見

1. 福岡教育大学 教授 飯田慎司
2. 福岡県立福岡農業高等学校 元校長 田中浩一

平成 29 年度筑前町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書について、意見を申し述べます。

飯 田 慎 司

I 教育委員会の活動について

教育委員会は会議規則に基づき、計画的に開催されている。会議開催について議事事務局に通告する等の取り組みがなされているが、平成 29 年度の傍聴者はなく、会議開催についての広報活動の方法を研究していくこととしている。

教育委員の研修については計画的に行われている。今後とも各種研修会について情報提供を行うこととしているが、筑前町における課題に関する研修がいかに行われているかについての具体的な情報提供を行うべきと考える。

学校及び教育施設に対する支援・条件整備については、学校訪問が計画的に行われており、2 学期には北筑後教育事務所同伴のアフター訪問も実施されている。

II 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について、平成 20 年度事業から自己評価等が実施され、平成 22 年度事業から学識経験者による外部評価が行われている。委員会窓口での閲覧及びホームページ等への掲載を継続して行うこととしている。

III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務 (学校教育)

1. 地域に開かれた学校づくりの推進

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進についての成果として、平成 29 年度も、熟議した内容の具現化がなされていると評価できる。学習ボランティアによる学力向上、安全安心集会の実施、地域見守り隊の組織化等に加えて、「家庭学習強化週間」の実施、「ネット 4 ない宣言」等の取り組みでは、本年度作成した「のぼり」を活用して、PTA や地域と連携した啓発活動が実施できている。これらは、Ⅲ 2 ④「町一体となった学力向上の気運の醸成」に直結した特筆すべき取り組みであり、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）のよさを生かしたものである。また、コミュニティ・スクールの取り組み状況等について、PTA 関連行事やお便り、ホームページ等を通じた広報をさらに充実させることとしている。学校評価の効果的運用については、「学力向上に係る検証改善サイクル」「主体的、対話的で深い学び」「英語教育の推進」等、町の教育施策の重点を評価項目に位置付けることで、各学校の意識化につながり、取り組みが充実してきている。

2. 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

教育の機会均等を図る体制整備について、三輪中学校、三並小学校において小中

合同研修会を行い、公開授業を通して、小中学校の教員による系統性のある指導内容・方法等について協議している。さらに、電子黒板やデジタル教科書等を活用した授業実践が進んでいる。各学校の特色ある取り組みが他の学校にも活かすことができるよう、筑前町教職員研修における研修内容の工夫改善や指導主事による情報提供及び学校支援を積極的に行っていくこととしており、今後の取り組みに期待したい。

学力の定着を図る場の確保・充実について、学力向上推進協議会や学力実態分析部会を開催し、町の課題及び取り組みの検証を関係機関で共有できている。ALTの効果的活用とともに、英語での校内放送を行う等して英語環境の整備が進められ、児童・生徒の英語や外国文化への興味関心の高まりが見られている点は大いに評価できる。今後も、大学入試制度改革や新学習指導要領を踏まえて、授業改善に対する支援を行っていくこととしている。立命館アジア太平洋大学との連携「English Work Shop」の開催や夏期休業中のALTとの交流活動、そして英語検定試験に対する受験料の全額補助等、「英語教育の推進」を町の教育施策の重点の1つとして位置付ける種々の取り組みの成果が挙がっていくことを期待したい。

教員の実践的指導力の向上について、筑前町教職員研修を実施して、教職年数や職務内容に応じた研修を計画的に行っている。また、小中合同授業研修会を実施して、小中学校の教員による系統性のある指導内容・方法等について協議することができている。今後は、教科等の系統性や学び方の系統性等、小中連携(一貫)に関わるテーマを明確にした小中合同授業研修会にするために、研修内容や方法の工夫改善を図ることとしており、中1ギャップ解消につながる指導力向上が期待される。また、英語の指導力向上のため、英語教育推進教員研修を実施することとしている。

町一体となった学力向上の気運の醸成について、学力テストの分析結果等について、教育委員会や各学校のホームページ、そして町広報紙を通じて、町民への普及啓発ができている。各中学校区で実施している「家庭学習強化週間」や「ネット4ない宣言」の取り組みを、家庭・地域と連携しながら運動として展開していくこととしており、大いに期待したいところである。学力向上の気運の醸成として期待したいのは、小学校段階から家庭学習の習慣をつけること、そして中学校で部活動に打ち込んでいるときにも、学校での学習は勿論のこと、家庭学習との両立ができることである。これらの成果が上がっているかどうかを検証していくことも大切なことである。

3. 心づくり・体づくりの推進

食育の推進として、筑前町給食管理委員会において、すべての児童生徒の食の安全を図るために策定した「筑前町食物アレルギー対応方針」に基づいてアレルギー対応が実施できている。

キャリア教育における小・中一貫のカリキュラム「夢と志を育む筑前っ子育成プラン」に基づいた特色ある実践を広げることができている。また、中学生が校区内の小学校に出向いて学習支援を行ったり、地域の行事等にボランティアとして積極的に参加したりする取り組みを継続させている。

道徳教育の充実・改善として、「特別の教科 道徳」への移行を踏まえ、実践校視察や講師招聘による研修等、各学校の道徳教育推進教員を対象とした研修を行っている。今後は、具体的な授業づくりや評価の在り方等、内容を焦点化した研修を行っていくこととしている。

4. いじめ・不登校に対する生徒指導体制の確立

いじめ認知件数が増加しているが、これは、いじめに関する教職員の目が行き届いていることの証でもあることから、今後も教職員の積極的な認知と組織的な対応について周知することとしている。いじめ認知件 14 件はすべて解消し、不登校 40 名のうち 12 名が解消している。教育支援センターで、学校への支援復帰と学力の保障を行っている。また、いじめ問題等外部専門家による学校への支援において、「いじめアンケート」をテーマに適切な助言を得ることができている。このアンケートについては、筑前町としてのモデルを提示していくこととしている。

5. 特別支援教育の充実

普通学級に在籍する発達障害が疑われる児童・生徒の個別の指導計画を作成し、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりを充実させることが改善・推進策に挙がっている。また、「障害者差別解消法」に基づく合理的な配慮の提供について、周知・啓発を図っている。個々の教育的ニーズに対応する人的支援については、9 名の特別支援教育支援員を町費で各学校に配置して、特別支援学級での学習を充実させるとともに、普通学級の支援も積極的に行っている。また、専門的な支援を充実させるため、作業療法士等、医療機関との連携のあり方を検討することとしている。

6. 人権教育の推進

定期的な学校訪問によって、学校の教育活動全体を通して人権教育の推進を図るよう指導・支援を行っている。今後も引き続き、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」が各学校で共通理解のもとで進められるよう指導していくこととしている。また、初任者、若手教員等を対象にした「人権教育研修」を実施しており、人権教育の出発点である児童生徒理解の充実が図られるよう指導を行っていくこととしている。

7. 教職員の資質向上と人材育成

人事評価に関して、各学校で個票を作成し、校務、学級経営、授業等における客観的な評価を行うとともに、各学校で計画的に個人面談を実施するとともに、新たな人事評価制度の周知を行っている。また、教職員派遣研修に関しては、経験年数や職務内容に応じた研修を行えるようにするとともに、教職員一人一人の職務やキャリアステージに応じた筑前町教職員研修の内容の充実に努めることとしている。

(社会教育)

1. 学校・家庭・地域の連携による学習機会の充実

成人学級・講座について、各種講座・学級が開催されており、一定の成果があったと評価されている。多くの方が受講できるよう、魅力ある講座内容を検討し、周知方法を工夫していくこととしている。

2. 図書館の充実と読書活動の推進

「小学生読書リーダー育成講座」で読書リーダーを育成し各小学校の読書活動の促進につなげている。また、「毎月23日は読書の日」とし、この日は省テレビ、省ゲームデーとして家族で読書活動を行う日として啓発している。また、小学校低学年、高学年用の家読スタンプラリーを作成し、公共図書館にて配布を行い、「読書の日」及び「家読」の啓発を行っている。また、「省テレビ・省ゲームデー」や「家読の習慣づくり」をさらに広く周知させることとしており、読書環境の充実に期待したい。

3. 生涯スポーツの普及促進による健康増進

スポーツ指導者研修会がアスレチックトレーナーを講師として実施されており、スポーツの振興を推進する指導者としての力量や資質の向上を図っている。参加者(30名)の多くに好評であったとのことである。

4. 芸術文化の鑑賞機会と発表機会の充実

毎年度、多様なニーズに応じて同事業が行われており、継続的な働きかけや申請等によって、計画的に実施されていることを評価したい。体験型の企画によって、聴くことや観ることに加えて体験する機会も提供して、町民ホールや文化施設の使用促進を図るという改善策があがっている。

5. 様々な体験活動による青少年の健全育成

通学合宿が3泊4日で実施されており、地域にとってより魅力的な合宿内容や町の支援体制を検討している。地域の負担を減らし地域が協力しやすい運営を行っていくこととしている。また6年生交流会は3月に1泊2日で実施されており、今後は中学入学前の交流活動プログラムをさらに工夫していく必要があるとしている。

6. 「子どもの約束」の推進

平成24年度に策定された「子どもの約束」に関して、子どもが参加する種々の行事の配付資料に「約束」を綴り込むとともに斉唱を奨励している。子どものつどいで「子どもの約束」を活用したイベントを行っている。子どものつどいで「子どもの約束大声大会」を実施している。今後は、推進事業の継続と新たな展開や家庭への普及を図ることとしている。

7. あらゆる場を通じた人権教育・啓発の促進

筑前町人権・同和推進協議会社会教育部会総会において、事業計画等について協議を行い、各種講演会・研修会への参加、部会員が属する団体での研修を呼びかけている。今後は、社会教育団体に対して、人権セミナーや研修会の実施を求めることとしている。

おわりに

各事業の点検・評価の結果、各担当の努力によって、教育施策の実現に向けて着実な成果が挙がっている。

毎年度、同じような取り組みや改善策があがっているものもあるように感じる。施策の特徴からして致し方ない面もあるだろうが、取り組みの観点を見直したり、課題を明らかにしたりして、改善に向けて取り組んでいただきたい。

学校教育に関する施策に関しては、熟議した内容を具現化すること等において着実な進展が見られるように思われる。学力向上に関しては、筑前町だけではなく多くの市町村が真剣に取り組んでいる。筑前町では、「学力向上に係る検証改善サイクル」「主体的、対話的で深い学び」「英語教育の推進」等を教育施策の重点として取り組んでいる。特に、「町一体となった学力向上の気運の醸成」と「英語教育の推進」について力を入れている点を評価したい。具体的には、「家庭学習強化週間」や「ネット4ない宣言」の取り組みを通して、小学校段階から家庭学習の習慣をつけることと、中学校段階での部活との両立が期待される。「英語教育の推進」については、英語の学習環境の整備に関して、いろいろな取り組みが始められている点にも注目していきたいと思っている。

社会教育に関する施策に関しては、社会教育委員の会議からの答申を受けて策定された、筑前町「子どもの約束」の啓発や普及促進の取り組み等において、推進事業の新たな展開が図られているようである。また、読書活動の推進においても、「読書の日」及び「家読」の啓発など意欲的な取り組みが行われている。子どもたちの体験活動を重視した種々の取り組みも継続的に実施されており、これまでの積み上げを通して筑前町に根付いてきた望ましい活動は継続的に実施していくという姿勢も評価できるところである。

I 教育委員会の活動

1 教育委員会の会議の運営改善

① 教育委員会会議の開催回数

毎月1回の定例会及び臨時会（合計13回開催）は、他の市町村と比較しても妥当と考えます。

② 教育委員会会議の運営上の工夫

毎月定例の教育委員会であり、原則、開催日は特定したがよいと考える。しかしながら、教育委員会、教育委員の事情もあり、次回開催については、全員が出席できるよう、事務局で連絡調整に努めて下さい。

2 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信

① 教育委員会会議の傍聴者の状況

傍聴者は28年度が1名、29年度は0名であり、大変憂慮します。会議開催について、広報活動の方法を研究するとありますが、町民に対しても説明ができるよう、改善策を早急に検討して下さい。もう少し厳しい評価でもよいと考えます。

② 議事録等の公開、広報・広聴活動の状況

議事録等を公開し、広報・広聴活動を行うことにより、町民の関心が高まり傍聴者の増加等も期待できると考えます。事務改善として、会議録作成用のソフトもあるのではないのでしょうか。検討してください。

3 教育委員会と事務局との連携

定例教育委員会開催時に、教育長から現状と課題等について丁寧に報告がされており、教育委員との信頼関係が深まるなど、連携協力ができていると判断します。

4 教育委員会と首長との連携

首長主催の総合教育会議が開催され、教育施策について意見交換を行うことができたことは、大いに評価します。また、町長や副町長との連携を「常に」図っていることも評価します。

総合教育会議の制度が始まって数年経過しましたが、課題もあると考えます。教育は常に変化しており、時代の変化に応じた教育行政が求められます。議論の深まりを期待します。

5 教育委員の研修

各研修会に教育委員が出席し研修に努めていることは、評価できます。研修を通して、気づいたことを大いに議論し教育行政に反映していただきたい。

また、28年度より回数、出席者が増えており（5名から11名）評価します。

6 学校及び教育施設に対する支援・条件整備

教育現場の実状を理解するための視察や懇談をすることは、教育委員会の活

動として評価します。28年度は3学期に訪問がありましたが、進級や卒業など学校行事の点から3学期の訪問は難しいと判断し、評価します。

II 教育委員会が管理・執行する事務

1 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。

平成29年度教育施策及び「学校教育推進29」並びに「社会教育推進29」を作成するなどの取組は大いに評価できます。

現在、我が国は移民政策はとっていませんが、ドイツ、アメリカ、イギリスに次いで、外国人労働者が多くなってきており、世界4位との調査もあります。今後、当町にも外国人が増加することも考えられ、語学力の向上は非常に重要と考えます。英語教育の充実をしっかりと進めていただきたいと考えます。

その他の項目についても、町の教育方針がよく示されており、理解しやすい冊子になっています。

4 県費負担職員の懲戒及び県費負担職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。

定数欠員補充及び休職代替職員の任用等については、教育委員会として学校をしっかりと支援し、教育活動に支障がでないように努めることが大変重要であると考えます。口頭による訓告は28年度1件でしたが、29年度は0件であり、非常によい結果であったと思います。「0と1」では大きく違います。

6 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと。

人事異動の適正な実施に取り組み、不服申し立てはなかったことは評価します。このことは日頃から校長と職員との信頼関係が図られていると思います。

8 教育委員会の職員の任免その他の人事を行うこと。

29年度は、職種名など詳しく書かれており、重点施策とつながり理解が深まりました。教育行政には、このような多くの職種があることなどを町民の方に説明するなどの取り組みもお願いします。そのことによって、町教育行政に対する関心・理解が深まると考えます。

10 1件100万円以上の工事の計画を策定すること。

実施計画策定においては、国や県の教育の動きとしっかりと連動した計画を策定して下さい。

11 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

学識経験者から多様な意見を聴くことは適切であり、その意見を町の教育行政に活かしていることは評価できます。委員会窓口での閲覧及び教育委員会HP掲載など、町民への広報に努められ、そのことにより、傍聴者も増すのではないのでしょうか。

12 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。

今後とも、状況の変化に対応した審議をしっかりと行って下さい。

13 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、意見を申し出ること。

今後とも、教育予算の説明は理解が得られるよう、十分に努めて下さい。

1 5 校長、教員その他の教育関係者の研修の一般方針を定めること。

教員研修は大変重要であり、研修計画を体系化し推進していることは大いに評価できます。教員研修の体系化の策定にあたっては、福岡県教育センターが作成している研究紀要や資料等を参考にされてはどうか。

また、校長経験者として、学校のリーダーである校長の研修は非常に重要と考えます。校長のリーダーシップの下、教育困難校から見事に再生した学校も多くあります。

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(学校教育)

1 地域に開かれた学校づくりの推進

① コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進

学校運営協議会制度の趣旨を十分に活かし、地域に開かれた学校づくりを推進して下さい。各取組を啓発するための「のぼり」の活用は有効と考えます。

同じ町内の学校でも、それぞれ特徴があり、また個別の課題もあります。学校は閉鎖的な部分もあり、教育課題が表に出ないような雰囲気もあります。学校から積極的に情報を提供していただき、その課題解決のための支援・協力を是非お願いします。学校の危機管理は非常に大切です。初期対応の遅れが大きな問題となる場合もあります。

28年度はA評価でしたが29年度はB評価になっています。

② 学校評価の効果的運営

学校関係者評価委員会と学校運営協議会とを一体化することで、学校の教育活動に対する評価が、効率よく行うことができたことは、評価できます。

一方、今後は更なる検討や検証も必要ではないかと考えます。学校は校長が全ての責任者であり、校長をしっかりと支える体制が必要です。

2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

① 教育の機会均等を図る体制整備

教員研修の成果がでており、教育活動の深化充実が図られていることは評価できます。先端技術（電子黒板、デジタル教科書など）を活用した教育は、未来を担う子どもたちにとって大切なことです。人工知能（AI）の発達や普及により、社会は益々変化することでしょう。社会の変化に対応するための教育の推進は非常に重要なことです。そのための教員研修の充実をお願いします。

② 学力の定着を図る場の確保・充実

学力向上推進協議会、学力実態分析部会での課題分析や検証は大変重要と考えます。学校改善とは授業を改善することです。新学習指導要領でも、何よりもこのことの重要性が記載されています。児童生徒は皆、学びたい気持ちでいっぱいです。その期待に応えなければなりません。

特に、町の教育方針である「英語教育の充実」の点から、様々な取組が実

施されており、学力の定着・向上が図られています。私見ですが、英語は内容的な教科と技能的な教科の両面をもっていると考えます。英語力が高い生徒は、総じて全体の学力も高い傾向にあると思います。ALTの活用など授業改善に積極的に取り組んでほしいと考えます。

③ 教員の実践的指導力の向上

平成29年度筑前町学力向上推進プランで、「研修を通じた指導力の向上」が明示され、教員研修の充実、小中合同授業研修が示されており、評価できます。特に、英語教育における指導力向上のための英語教育推進教員研修会には大いに期待します。

また、研修報告書の作成に当たっては、研修成果等が具体的に見えるよう、その様式を工夫・改善してほしいと思います。

④ 町一体となった学力向上の機運の醸成

町民に対し、リーフレットの配布や説明会、研修会を実施していることは、大いに評価できます。学力テストの分析結果を研修会等で公表することは、学力向上の機運を高めることにつながると考えます。

3 心づくり・体力づくり

① 食育の推進

食育推進委員会を開催し第二次食育推進基本計画の具体的な取り組みや年間指導計画の重点化に努めていることは評価できます。

今日、食生活の変化により、食物アレルギー対応が教育上の課題ともなっています。学校給食は学校生活の中でも重要な部分であり、極めて細かい支援や配慮が必要となっています。

② キャリア教育・ボランティア教育の推進

「夢と志を育む筑前っ子育成プラン」に基づいた特色ある取り組みができたことは評価します。学校運営協議会の下、小中学校の連携・協力ができ地域の教育力が高まっていると思います。

③ 道徳教育の充実・改善

次期学習指導要領でも道徳が重視されており、教員研修の充実をお願いします。

4 いじめ・不登校に対する生徒指導体制の確立

① いじめ・不登校をなくす学校の取り組み

28年度に比して、いじめ認知件数、不登校数共に増加していることは留意すべきであるが、解消にむけてしっかりと取り組んであることは評価します。

様々な支援や解決方を検討され、児童・生徒を孤立化させないよう家庭や社会と共に協力し取り組んで下さい。いじめ・不登校解消の要因は見えにくい部分が多く、拙速にならず時間をかけて指導することが何よりも重要と考えます。

② 児童生徒の安心・安全を守る連携体制

学校、教育委員会、関係行政機関が十分に連携し、安心・安全な教育環境の整備に努めて下さい。児童生徒の生命にかかわる事故等は発生しなかったこと

はよかったと思います。また、SNS等を活用した危機管理を今後とも取り入れて下さい。

③ 児童生徒の安心・安全を守る人的支援

スクールカウンセラーや教育相談員などの活用など、教育委員会の支援は評価できます。「地域見守り隊」等、小学校校区で組織化されたことはすばらしい。今後とも更なる関係者による情報交換・共有化を積極的に努めて下さい。

5 特別支援教育の充実

① 学校における特別支援教育の組織的な推進

今日、特別支援教育に関心が高まり、特別支援学校への進学希望者が増加している。関係機関と連携し、学校が組織的に児童生徒を支援できるよう、特別支援教育の充実に努めて下さい。特に、通級指導教室の指導の充実が図られたことはよい成果と考えます。

② 関係機関とのネットワークの構築

特別支援教育に配慮した、細かい助言や支援ができています。併せて、通常学級に在籍する気になる児童生徒への効果的な支援ができる体制づくりは大切なことと考えます。

③ 個々の教育的ニーズに対応する人的支援

9名の特別支援教育支援員を町費で各学校に配置するなどの取組みは大変評価できます。また、研修会の実施など充実しています。特に、専門的な支援を充実させるため、作業療法士等、医療機関との連携を今後検討することは評価できます。

6 人権教育の推進

① 学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進

「学校教育推進29」を配布し、説明会や研修会等で啓発を行ったことは評価できます。特に、初任者、若手教員に対してはしっかりと研修を期待します。

② 組織的な取組の推進

学校での全体計画や年間指導計画の作成について、助言や支援を積極的に行って下さい。特に、校長、担当者研修会を開催し、校長を中心とした人権・同和教育の推進に努めたことは評価できます。

③ 指導内容の充実と指導方法の工夫・改善

各学校での実践事例を活用するなど今後の指導改善に活かして下さい。

7 教職員の資質向上と人材育成

① 教職員の資質向上を図る人事評価の推進

人事評価の目的、評価方法、実施上の留意点を校長に指導する際、単なる説明にならないよう、具体例を例示するなど指導の徹底を図って下さい。特に、評価者である校長の情報交換や共通認識を図ることが重要と考えます。

② 教職員派遣研修や教職員人事による人材育成

大量採用時代の中、教員の研修は大変だと思いますが、教員一人ひとりに応じたきめ細かな研修は大切です。また、せっかく受けた研修が実を結ぶた

めには、適切な時期に実践の成果等を校長に報告するような仕組みを作られてはどうか。あわせて、不祥事防止に関する研修は、特に重視してほしいと思います。

(社会教育)

1 学校・家庭・地域の連携による学習機会の充実

① 成人学級・講座

教育は学校教育だけでなく、社会教育も大変重要です。生涯学習時代を迎え、成人学級や講座の要求度は今後益々増加すると考えます。各講座の満足度や目標達成率を数値で示してほしいと思います。28年度は数値化されていきました。

また、中牟田小アフタースクールの実施、およびその成果は十分に評価できます。今後とも同様な取組みは継続していただきたい。

2 図書館の充実と読書活動の促進

① 子どもの読書活動推進計画の実施

「社会教育推進29」の中で、読書活動の推進のねらいがありますが、単に読書活動を推進するだけでなく、活字に親しむこと、豊かな心を育むこと、創造力や思考力を高めることなど総合的な学力の向上方策、また、家庭での親子の会話などコミュニケーション能力の向上にもなり、町の施策は十分理解できます。今後とも工夫改善されることを期待します。

② 地域の知の拠点としての機能強化

町民の様々な読書要求に応えることは本当に大変なことと思います。他館との相互貸借もすばらしい取組みと思います。

3 生涯スポーツの普及促進による健康増進

① スポーツ指導者研修会

筑前町は以前からスポーツが盛んで、これまでも多くの有名選手を育ててきた実績があります。指導者育成を今後とも計画的、積極的に推進されることを期待します。健康、安全、安心な町づくりにもスポーツ振興は大変重要と考えます。

4 芸術文化の鑑賞機会と発表機会の充実

① 芸術・文化事業の開催

質の高いマンスリーコンサートは大変高評と聞いています。幅広い年代に親しまれる、多様なジャンルの音楽と生演奏の素晴らしさを感じる企画を今後とも継続していただきたい。

福岡方面からの参加者が多かったとありますが、その理由は何ですか。また、28年度より来場者が減少した理由と減少率を表記されたがよいと思います。できる限り数値化されることを願います。

② 文化財の保存・活用

町には多くの歴史的貴重な文化財があり、町の宣伝効果も十分に期待できると思います。卑弥呼の像もあり、隣接の朝倉市と連携・協力して歴史の町

づくりに取り組んでほしいと願います。

③ 町史の編さん

編さんされた「歴史資料や考古資料」の学校教育での活用も今後、積極的進めていただければよいと考えます。

5 様々な体験活動による青少年の健全育成

① 通学合宿

地域の子どもたちを地域で育て、同時に地域のつながりを広げることを目標とする自治公民館主催の本事業は大変素晴らしいと考えます。町の特色化としても今後とも積極的に推進していただきたい。

② 子ども会議

子ども会議の更なる活動を大いに期待したいと思います。

③ 6年生交流会

②、③とも教育委員会として特徴的な事業と考えます。今後大いに期待します。

6 「子どもの約束」の推進

① 「子どもの約束」の推進及び啓発事業の充実

「大刀洗平和記念館中学生ボランティアガイド」は画期的な取組みと思います。

マスコミに積極的広報されるなどは子どもたちの活動を評価してほしいと思います。

7 あらゆる場を通じた人権教育・啓発の促進

① 筑前町人権・同和推進協議会 社会教育部会

町の人権教育へのこれまでの取組みは十分に評価できます。今後とも計画的、効果的な取組みをお願いします。

終わりに

昨年度に続き、筑前町教育委員会の事務、管理及び執行状況について評価することになり、本教育委員会の役割がよく理解できました。また、新規事業も多く実施されており、そのねらいと成果に期待しています。

教育委員会の役割は、各学校の現状と課題をしっかりと把握し、課題解決のための、助言、指導及び支援を行うことだと考えます。児童・生徒の成長に対する強い問題意識や当事者意識が求められると考えます。貴教育委員会のご発展を祈念いたします。

以上、評価報告書に対する意見と致します。